

P.U.X・車両入退を一元管理  
露語話者の犯罪に変化  
「RISON」[「SEE-CAT」]注目された展示  
注目の新製品  
全方位カメラ4機種発売

2面  
3面  
4面  
5面  
6面

# 科学保安講習会を初開催

## 推奨認定した顔認証システムで犯行を未然防止

### J E A S

J E A S（工業会日本万引防止システム協会、東京都新宿区、稲本義範会長）は、10月22日に科学保安講習会をリモートで初開催した。万引き対策として、顔認証システムの活用に対する期待が高まる一方で、システム

運用にはプライバシー保護などの要求項目を把握する必要がある。科学保安講習会では、システムに登録する類似した人物と現場のデータ分析力の重要性が示され、専門家が最新動向などを解説した。

刑法犯認知件数が減少を続ける一方で、万引き犯の認知件数が占める割合は増加傾向にある。そのため、小売業では対策の一環として、顔認証システムが注目されている。

J E A Sでは、こうした状況を踏まえ、科学保

安講習会を開催。科学保安はJ E A Sが推奨認定した顔認証システムを活用して、窃盗集団の顔を登録することにより、類似した人物が来店した際には早期の認識と犯行を

未然防止する保安警備のアプローチ。今回の講習会には、受講者32名に加え、来賓、報道機関や講師を含む50名程度が参加。当日は科学保安にあたり、類似した人物及びデータ分析力を高める重要性などが説明された。講習会の最後に確認テストが行われ、合格者には修了証を授与する。

併せて、第2回推奨顔認証システム認証式（マスク対応プラス）も実施。パナソニックシステムソリューションズジャパン、NEC、グローリー、Geovisionのシステムが認証されたことが報告された。

研修会終了後、参加者からは内容を評価する声などが寄せられ、科学保安に対する高い関心が窺えた。



講習会参加者



推奨顔認証システム認証式